**「謎の襲撃者」**

依頼人：マーティン・ウォーカー公爵

2月11日17時に、私の息子で、実業家でもあるダグラス・ウォーカーが自室で意識不明になっているのが発見された。床に転がっていた灰皿で頭を殴られたのが原因で、犯行が行われたのは16時以降と見られる。また、部屋の様子から、息子は自ら犯人を迎え入れたようだ。息子のメモによると、その日は14時に貴族氏と自宅で会う予定だったらしい。息子の発見者は近所の医者で、直前に息子が倒れていると匿名の電話を受けたとのこと。雑音が酷く、相手の年齢や性別はわからなかったらしいが、口調からするとおそらく男で、酷く動揺しているようだったという。なお、調査の役に立つかもしれないので、あなたに凶器の灰皿を渡す。

このような事件は本来ならば警察の仕事なのだろうが、こちらの事情で可能な限り警察沙汰は避けたい。そのためあなたに調査を依頼する。

1.初期証拠カード「ダグラス氏の意識不明」

2.初期アイテムカード「灰皿」

3.証拠カード「急用」

4. 証拠カード「貴族の目撃情報」

5. 証拠カード「喧嘩中の妻」　全く伸びはしないが、それなりに重要な証言が出る。

6. 証拠カード「一緒に酒」

7. 証拠カード「借金」

8. 証拠カード「靴磨きの自白」

9. 証拠カード「灰皿の指紋」

10. アイテムカード「調査済みの灰皿」

11. 証拠カード「貴族の告白」

12.アイテムカード「浮気相手の写真」

13.証拠カード「学者の妻」

14.証拠カード「灰皿に学者の指紋」

15.証拠カード「拭き取られた跡」

16.真相カード「学者の自白」

17.証拠カード「ダグラスの家に学者の指紋」

貴族

1：「彼とは大学の同期で、同窓会についての話をする予定だったんだ。しかし当日の朝になって、急用が入ったから延期にしてくれと電話で言われてね。おかげで丸々一日暇になってしまったので、昼からは靴磨きを誘って自宅で酒を飲んでたよ」

**3番「急用」を渡して下さい。**

2：「学者に頼んだらどうかね？私の知り合いで、そういうことを調べられるのは学者とあと一人しか知らないよ。あと一人の方はちょっと喧嘩中なので、余程の理由がない限りは勘弁してほしいね」

4：「勘違いだろう。私はその時間家にいたし、今付き合っている女性などいないよ」

5：「確かにそんな噂はあるな。ダグラスは確かに浮気くらいやりかねん男だが……。奥さんに限ってはそんなことはないだろうよ」

6：「ああ、その通りだよ。それが何か？」

**3番をまだ渡してなければ、渡して下さい。**

7：「それは事実だが、だから何だというのだね？」

8：「吐いてしまったか。まあ仕方ないな。こうなった以上は素直に話そう。その日私はダグラスの奥さんと合っていて、それを知られたくなかったのだ。私は以前からダグラスの浮気について相談を受けていて、それで度々奥さんと会っていたのだ。これがダグラスの浮気相手の写真だ。なにかの役に立つかもしれないので君に渡そう。それと、私と彼女は犯行のあったと思われる時間帯はずっと郊外のレストランにいたから、完全に白だよ」

**11番「貴族の告白」と12番「浮気相手の写真」を渡して下さい**。

貴族は奥さんとの関係が浮気だとは積極的には言いませんが、浮気です。それは浮気じゃないのか？と突っ込まれたら、渋々認めましょう。

なぜ靴磨きはお前が犯人じゃないと知っていた？と聞かれたら「レストランを出たところで、靴磨きに出くわしてね……」

9：「ふむ。犯人は手袋でもしていたのかな？」

10：「これがどうかしたのか？」

13と2：「学者も容疑者となると、学者に調べてもらうという訳にはいかないか……。他の知り合いに頼んでみよう。そいつは警察関係者だから信用していいはずだ。調べてもらうかね？」

肯定されたら「では調べてもらおう……（間）……調べて貰った結果、灰皿から学者の指紋が出たそうだ……」

**14番「灰皿に学者の指紋」を渡して下さい。**

否定されたら「そうか、まあ調べたくなったらいつでも声をかけてくれ」

13と10：「学者が容疑者になったから、調べ直したいというわけか……いいだろう。他の知り合いに頼んでみようか？」

否定されたら「そうか、残念だ」

肯定されたら「では調べてもらおう……（間）……灰皿からダグラス以外の指紋は出なかったが、かなり広い範囲で指紋が拭き取られていたらしい。これは事件直後に犯人が拭きとったか、学者が拭きとったかのどちらかだろう。しかし、これで手詰まりなのか？いや、何か見落としているような気もする……その何かがわかれば、まだ手はあるかもしれない。他の人達に聞けば、なにか知恵を出してくれるかも」

**15番「拭き取られた跡」を渡して下さい。**

「拭き取られた跡」を渡した後で、灰皿以外にもダグラスの家には指紋があるんじゃないの？と突っ込まれた場合は、

「おお、そうだな。よし、調べてみよう……（間）……うむ。やはりドアノブや電話機から、学者の指紋が見つかったらしい。彼はダグラスと面識はないと言っていたそうじゃないか。これは明らかにおかしいな」

**17番「ダグラスの家に学者の指紋」を渡して下さい。**学者は慌てて逃げたので、家の中の指紋はそのままなのだ。

学者

1or2：「そ、そそそんなことがあったのか！し、知らなかったなあ！（必至で落ち着こうとする）……私は被害者とは面識がないから、特に役に立つようなことは知らないよ。ところで、その灰皿はもう調査したのかね？もしまだなら、少し預からせてくれれば、私の方で調査して上げよう」

承諾した場合、「調べた結果だが、灰皿には被害者の指紋以外は付着していなかったようだ」

**9番「灰皿の指紋」を渡す。また、2番のカードを10番「調査済みの灰皿」に取り替える。**

承諾したけど、変なことをしないか目を光らせていると言われた場合、

**9番「灰皿の指紋」だけを渡す。**

拒否した場合「そ、そうか。残念だ。その気になったらいつでも頼みに来てくれたまえ」

3：「何も知らないな」

4：「何も知らないな」

5：「そ、そんな噂があるのかね？い、いや、私は何も知らないよ」

6：「何も知らないな」

3、4、6「それはおかしいな。しかし私としては一応容疑者の貴族様はともかく、他の二人が嘘をつく理由があるとは思えないな。一番付き合いの長いマスターなら心当たりがあるかもしれない」

7：靴磨きに問いただせば？

12：「こ、これは……！！まさか……！！いや、なんでもない、忘れてくれ……」

13：「うむ、別居中の妻に瓜二つなのは事実だ……。だが、本人に確認はしていない内は、断言するわけにはいかないな」

今まで知らなかったのかと聞かれたら「し、知らなかったとも！」

15：「そ、それは多分、犯人が犯行直後に拭きとったんだろう……」

なぜ調べた時に言わなかったと聞かれたら「い、言い忘れていたかね……。確か言ったような気がするんだが……、何にせよ、わ、私は犯人じゃない」

14or17：「こうなっては言い逃れもできないな……。私はしばらく前にダグラスと妻が浮気しているのを知って、あの日は彼に妻と別れるように直談判しに行ったんだ……別居中とはいえ、私は妻をいまでも愛していたんだから。しかし結局は口論になり、ついカッとなってしまって……」

**真相カード、16番「学者の自白」を渡して下さい。**

記者

1：「その日は15時頃でしたかね？貴族氏が街を歩いているのを見ましたよ。それも綺麗な女性と一緒に。その女性、どこか見覚えがあったんですが、思い出せなくて……カメラが故障してなければ写真の一枚でも取ったんでしょうけど」

**4番「貴族の目撃情報」を渡して下さい。**

2：「調べて欲しければ学者さんのところに行ったら？」

3or6：「それは変ですよ。だって私はその時間に貴族様が外にいるのを見てるんだし。彼らは嘘をついてるんじゃありませんか？」

まだ渡してなければ4番を渡してセリフを言う。

5：「もともと被害者はあまり素行がいい男ではありませんからね。そういう噂は常にあります。奥さんはそこまで評判は悪くはありませんが、そういう夫に愛想をつかして、他の男に走ったなんて噂もありますね」

7：「靴磨きを問い正せ」

8：「なるほど、そういうことでしたか。ともかく貴族様に話を聞くべきですね」

9：「犯人は手袋でもしてたんでしょうかね？」

10：「それが何か？」

11：「なるほど、そういうことですか。その写真ってのを見せてくれませんか？」

12：「これは知っている人のような気がしますが……やはりマスターに聞いてください。私の思った通りの人なら、マスターが一番詳しいでしょう」

誰なんだよ！と突っ込んで聞かれたら「確信が持てないんですよ。間違いだったら責任もてません」

13：「なるほど……学者さんもお気の毒に」

13と2or13と10：「となると、学者さん以外のところで調べてもらったほうがいいですね。貴族様にはそういう知り合いがいた気がします」

14or17：「学者に行け」

15：「こういう時に重要なのは想像力だと言われたことがあります。犯人は被害者を殴り倒したあと、どういう行動を取ったんでしょう？」

灰皿以外にもダグラスの家には指紋があるんじゃないの？と突っ込まれた場合は、貴族に誘導して下さい。

靴磨き

1：「貴族氏ですか？その日はあの人の家で昼から一緒に酒を飲んでましたよ。急なことでしたが、奢るって言ってくれたんでね」

**6番「一緒に酒」を渡して下さい。**

3：「はい、貴族様の言う通りです」

**6番をまだ渡してなければ、6番を渡して下さい。**

4：「そいつは勘違いでしょうよ」

5：「そんな話を小耳に挟んだことはありますな。詳しくは知りませんが」

7：「マスターにはお見通しだってってことか……嘘は付けないねえ。はい、貴族様に口裏を合わせるよう頼まれたのは事実です。でも、貴族様は犯人じゃありませんよ。流石にそれならかばったりしません。詳しくは貴族様に聞いてください。俺が吐いた以上は正直に話してくれるはずです」

**8番：「靴磨きの自白」を渡して下さい。**

なんで貴族が犯人じゃないって知ってたんだ？と後で聞かれたら「いやね、レストランから出てきた貴族様とたまたまばっちり出くわしまして……」

9：「犯人は手袋でもしてたのかな？」

10：「で、それがどうしたんで？」

11：「まあそういうことです。ところで写真は？俺もまだ見せてもらってなかったんで」

なんで知ってたんだ？と聞かれたら「いやね、あの日バッタリお二人に出くわしましてな」

12：「見覚えがあるようなないような……マスターなら知ってるかもしれないな」

13：「あれまあ……お気の毒に」

13と2or13と10：「となると、学者先生以外のところで調べてもらったほうがいいですね。貴族様にはそういう知り合いがいた気がします」

14or17：「学者に行け」

15：「犯人は酷く慌てていたって話じゃないですか。その時に指紋を拭き取る冷静さが残ってたんでしょうか？」

灰皿以外にもダグラスの家には指紋があるんじゃないの？と突っ込まれた場合は、貴族に誘導して下さい。

マスター

1：「ダグラスねえ。仕事に関しちゃ有能で公正だって評判だが、私生活に関しちゃ女好きでだらしないとか、あまりいい話を聞かないね」

2：「学者に行け」

3や6：「靴磨きとねえ……いや、なんでもない。忘れてくれ」

4：「最近頻繁に来なくなったから、女でもできたのかと思ってたが、当たりみたいだな」

5：「そういえばそんな噂は聞いたことがあるな。ちなみに奥さんはダグラスの同窓で、つまり貴族とも同窓だって話だぜ」

3、4、6：「実は靴磨きは貴族様に借金をしててな。それで頭が上がらんのだよ。本人は隠したがってるみたいだったから、今までは黙ってたんだがねえ」

**7番「借金」を渡して下さい。**

8：「貴族に行け」

9：「犯人は手袋でもしてたのかねえ？」

10：「これが何か？」

11：「そういうことか。で、写真は見せてくれないのかい？」

12：「これは学者先生の奥さんだ。数年前から別居中で、直に何度も会ったことがあるのは俺くらいだろうから、他の連中は知らないかもしれんな。そう言えばこの前学者がこの店に来た時、珍しく酔いつぶれて奥さんの名前を言い続けてたんだが、もしかするとあいつはこれを知ってたのかもしれないな。そうなると、学者も容疑者入りってことかねえ？」

**13番「学者の妻」を渡して下さい。**

13と2or13と10：「となると、学者以外のところで調べてもらったほうがいいだろうな。貴族様にはそういう知り合いがいた気がする」

14or17：「学者に行け」

15：「学者があなたに調査を依頼された時に拭きとったんだと仮定すると、それまでは指紋が残っていたわけだよな」

灰皿以外にもダグラスの家には指紋があるんじゃないの？と突っ込まれた場合は、貴族に誘導して下さい。

商人

1：「ダグラスか。直接の面識はないが、仕事柄多少は情報も入ってくる。彼は今奥さんと喧嘩して別居中でね。原因については、ダグラスが浮気したんだとか、いやいや浮気したのは奥さんだとか色々言われちゃいるがよくはわかってない。依頼人が事件を大きくしたくないのはここらへんが原因かもしれないね」

**5番「喧嘩中の妻」を渡して下さい。**

2：「学者に行け」

3：「何も知らない」

4：「何も知らない」

6：「何も知らない」

3、4、6「それはおかしいな。しかし私としては一応容疑者の貴族様はともかく、他の二人が嘘をつく理由があるとは思えないな。一番付き合いの長いマスターなら心当たりがあるかもしれない」

7：「靴磨きに行け」

8：「貴族に行け」

9：「犯人は手袋でもしてたのかな？」

10：「これが何か？」

11：「ほお、そういうことですか、ところで、写真を見せてくませんか？」

12：「見覚えがあるようなないような……マスターなら知ってるかも」

13：「そうだったのか。学者先生もお気の毒に」

13と2or13と10：「となると、学者先生以外のところで調べてもらったほうがいいですね。　　　　　　　　　　　　貴族様にはそういう知り合いがいた気がします」

15：「灰皿にばかり目を向けるべきではないかもしれないな」

灰皿以外にもダグラスの家には指紋があるんじゃないの？と突っ込まれた場合は、貴族に誘導して下さい。